藤沢事業所に工場建設
研究開発機能を拡充
オイレス工業

オイレス工業は、神奈川県藤沢市の藤沢事業所内に工場棟（図：イメージ）を新設する。延べ床面積は約7000平方ｍで、来年10月の竣工を予定する。

新工場は、小形複層軸受の生産拠点の集約と、研究開発機能の拡充を目的に建設する。県外の工場を移管・集約することで生産性の向上を図る。また、技術評価スペースを拡張して新たな評価設備を導入することで、自動車の騒音と振動の低減に寄与する製品の開発を目指す。

同事業所では、自動車のステアリングシステムで用いられるラックブッシュやボールシートなど、摺動性と耐摩耗性が要求され、自動車の操縦性能に関わる部品を製造している。

同社では、自動車業界の電動化や自動運転技術などへの対応のため、これら自動車用部品向けの摺動軸受の生産性向上と研究開発機能の拡充が課題となっていた。

Webサイトを拡充
軸受組立てなど解説
日新工機

日新工機は、同社が製造・販売する「OKSプランマブロック」の実績や解説記事を掲載する「お役立ちコンテンツ」を、8月からWebサイトに追加した（写真）。

「実績紹介」のページでは、実際に製造した製品や事例を紹介する。検索機能を備え、設備のジャンルやプランマブロックの型番などでソートが可能で、ユーザーの求めるプランマブロックに近い実績を見つけやすくした。

一方「解説記事」では、プランマブロックの構造などの基礎から組付けといった使用時に役立つ情報までを掲載した。

同社は今後も定期的に記事を追加していく。

8月受注実績を発表
アジア向け2ヵ月連続増
工作機械工業会

日本工作機械工業会が9月30日に発表した8月の工作機械受注実績調査によると、受注総額は679億8000万円で、前年同月比23・2％減と23ヵ月連続で減少した。13ヵ月連続で1000億円を割り込んだ。

国内の受注総額は239億8800万円と8ヵ月連続で350億円を下

2020年8月 受注実績調査報告

単位：百万円

[illegible]・地域	受注額	前年同月比(%)

ケーブルドラム向け軸受を供給
洋上での使用に対応
SKF

SKFは、ノルウェーのオフショア設備メーカーのナショナル・オイルウェル・バーコ社（NOV）に3種類の軸受を供給したと発表した（写ブルドラム向けに、球面ころ軸受とスラスト球面ころ軸受、自動調心トロイダルころ軸受を提案した。

大型のケーブルドラムーブルドラムには、アキシアル方向とラジアル方向のミスアライメントを補正するために、球面ころ軸受と自動調心トロイダルころ軸受を取り付けた。

さらに、軸受はISOすべて設計した。同社がこれまでに供給した標準供給した軸受の総重量は28ｔ以上だった。

発電用エンジンを受注
LNG燃料フェリー向け
ヤンマーHD

ヤンマーホールディングスは、グループ会社の然ガス（LNG）燃料フェリー向けに、発電用機関として船舶用デュアルフューエルエンジン「6EY26LDF」（写真）を受注したと発表した。

船舶では、排出ガス規制が年々強化されており、環境負荷の低いLNG燃料船の導入が進んで